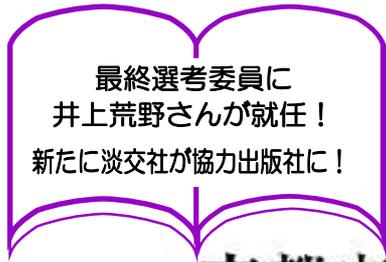


(広報資料)



第3回 京都文学賞

Kyoto Literature Award

新たな最終選考委員の就任及び新規協力出版社，
HAPSと連携した募集リーフレット等の発行について

令和3年4月28日
京都市文化市民局
京都文学賞実行委員会
担当：文化芸術都市推進室文化芸術企画課
電話：366-0033

京都で活躍する若手アーティストが
リーフレット等を制作！！

京都市では、文学の更なる振興や「文化都市・京都」の発信等に寄与するため、京都文学賞実行委員会を立ち上げ、「京都文学賞」を創設しており、4月30日（金）から、第3回作品及び読者選考委員の募集を開始します。

この度、新たに作家、井上荒野さんに最終選考委員に御就任いただくとともに、これまでの15社の協力出版社に加え、京都に本社を置く淡交社に、本文学賞に御協力いただくことになりましたので、お知らせします。

また、一般社団法人HAPSの芸術家×仕事コーディネート事業と連携し、令和2年度京都市芸術新人賞を受賞した谷澤紗和子氏のアートワークを採用した募集リーフレット・ポスターを新たに制作しましたので、併せてお知らせします。

記

1 最終選考委員について

いしい しんじさんのプロフィール及びコメント



1966年大阪市生まれ。京都大学文学部仏文学科卒。94年『アムステルダムの犬』（講談社）でデビュー。『麦ふみクーツェ』（理論社）で坪田譲治文学賞、『ある一日』（新潮社）で織田作之助賞、『悪声』（文藝春秋）で河合隼雄物語賞など著作多数。19年『マリアさま』（リトル・モア）、21年『源氏物語』の「京ことば」訳『げんじものがたり』（講談社）を刊行。現在、京都市在住。これまで「明倫レコード倶楽部」（京都芸術センター事業）のほか、京都の書店と連携したイベントに多数出演。ロームシアター京都オープニング事業「やわらかなかぐら」では初脚本を務めた。

京都をテーマに、というより、京都文学賞は、あなたにしか紡げない物語を求めています。物語にみち、物語を食み、過去へ未来へふくらんでいく京都という場が、ほんまに生きたはんのんか、と、あなたに問いかけている。生きた物語、期待しています。

いのうえ あれの
井上 荒野さんのプロフィール及びコメント

新たに就任！



© 三原 久明

1961年東京都生まれ。成蹊大学文学部卒。1989年「わたしのヌレエフ」で第1回フェミナ賞を受賞し、デビュー。2004年『潤一』（マガジンハウス）で第11回島清恋愛文学賞、08年『切羽へ』（新潮社）で第139回直木賞、11年『そこへ行くな』（集英社）で中央公論文芸賞、16年『赤へ』（祥伝社）で柴田錬三郎賞、18年『その話は今日はやめておきましょう』（毎日新聞出版）で織田作之助賞を受賞。他の著書に『ママがやった』（文藝春秋）、『綴られる愛人』（集英社）、『あちらにいる鬼』（朝日新聞出版）、『ママナラナイ』（祥伝社）など多数。21年『百合中毒』（集英社）刊行。

ガイドブックに何ページも紹介されている名所旧跡を舞台にしたとしても、誰も見たことがない風景を書くことはできません。もちろん、町の片隅、通り慣れた路地にも、はっとするような物語は生まれます。そういう小説を読みたいと思っています。

めんじょう つよし
校條 剛さんのプロフィール及びコメント



1950年東京都生まれ。73年早稲田大学第一文学部フランス文学科卒業後、新潮社入社。元「小説新潮」編集長。「日本推理サスペンス大賞」、「新潮ミステリー倶楽部賞」など複数の文学賞の創設を主導。2014年から19年3月まで京都造形芸術大学教授を務め、小説家やライターを目指す学生を対象とする「文芸表現学科」で教鞭をとる。著書に『ザ・流行作家』（講談社）、『作家という病』（講談社現代新書）、『にわか〈京都人〉宣言』（イースト・プレス）など。編著に『小説を書きたい人の本』（成美堂出版）がある。

本賞の応募条件は「京都を題材」とすることとありますが、たとえばニューヨークを舞台にしたらいけないのでしょうか？ そのような縛りはありません。たとえば空想の世界でヴァーチャルな京都を描くという方法だって可能でしょう。冒険心に溢れた作品を待望しています。

2 新規協力出版社について

(1) 趣旨

本文学賞では、文学の更なる振興や「文化都市・京都」の更なる発信のほか、新人作家の発掘や育成をコンセプトの一つとし、受賞作の出版や書店における展開など、受賞後も作家を幅広く支援できる体制の構築を目指しており、多くの出版社に協力を頂いている。

(2) 新規協力出版社

淡交社

※ これまでから御協力いただいていた、朝日新聞出版、KADOKAWA、河出書房新社、幻冬舎、講談社、光文社、集英社、小学館、祥伝社、新潮社、早川書房、PHP 研究所、双葉社、文藝春秋、ポプラ社の15社と合わせ16社となった。

(3) 備考

第1回一般部門受賞作は、以下のとおり協力出版社から刊行され、第2回一般部門・海外部門最優秀賞受賞作『鴨川ランナー』（作者 グレゴリー・ケズナジャット氏）は、講談社から令和3年秋頃に刊行予定。

○最優秀賞 『羅城門に啼く』（作者 松下 隆一氏、『もう森へは行かない』を改題）新潮社（令和2年11月刊行）

○優秀賞 『屋根の上のおばあちゃん』（作者 藤田 芳康氏、『大秦——恋がたき』を改題）河出書房新社（令和2年11月刊行）

3 リーフレット・ポスターのデザイン

アートワークを令和2年度京都市芸術新人賞受賞者の谷澤紗和子氏、ビジュアルデザインを岩城有香氏が担当し「第3回京都文学賞 作品・読者選考委員募集」のリーフレット・ポスターを制作しました。

インパクトが強く、これまでにない京都のイメージや想像力を掻き立てる作品になっています。

(リーフレット)



表面

中面

(ポスター)



<谷澤 紗和子（たにざわ さわこ）氏のプロフィール>

大阪市生まれ。京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程修了。

「妄想力の拡張」や「女性像」をテーマに、広大な妄想や想像力が解放されることを目指し、陶・切り紙などを用いた巨大なインスタレーションや小さな人形などを制作している。

2017年の東アジア文化都市「アジア回廊現代美術展」への出展のほか、2016年に「高松コンテンポラリーアート・アニュアル vol.5 見えてる景色/見えない景色」（高松市美術館）、2015年に「化け物展」（青森県立美術館）など、多くの個展・グループ展に参加。

また、異分野のクリエイターとのコラボレーションにも意欲的に取り組み、2015年より小説家の藤野可織との共同制作を続けている。2020年にはクリエイター集団「刷音《SURE INN》」メンバーとして、ヨコハマトリエンナーレ2020「AFTERGLOW—光の破片をつかまえる」にも参加。2021年「京都市芸術新人賞」受賞。

<https://www.tanizawasawako.com/>



<岩城 有香（いわき ゆか）氏のプロフィール>

1999年京都府生まれ。京都芸術大学（旧名称 京都造形芸術大学）情報デザイン学科イラストレーションコース卒業。

漢字をモチーフにしたグラフィックや、イラストレーションと文字を融合させたタイポグラフィの制作を得意とする、グラフィックデザイナー / アーティスト。

落語家・立川志の輔の独演会や、歌舞伎役者・尾上右近の自主公演のグラフィックデザイン等を手がける。

また、アパレルブランド《MAKE LOVE, NOT WAR》を立ち上げ、自身で描いたグラフィックをファッションアイテムにも展開している。

<http://www.iwakiyuka.com/>



4 仕 様 A3 二つ折り フルカラー（リーフレット），
B3 フルカラー（ポスター）

5 発行部数 40,000部（リーフレット），700部（ポスター）

6 リーフレット配布及びポスター掲示場所

市役所本庁舎，各区役所・支所，市内及び全国の書店，図書館，大学など

※ リーフレットのデータは，京都市情報館，専用サイトにも掲載します。

京都市情報館：<https://www.city.kyoto.lg.jp/bunshi/page/0000283589.html>

専用サイト：<https://www.kyotobungakusyo.com/>

7 リーフレット配布及びポスター掲示期間

令和3年5月21日（金）から順次（9月13日（月）まで）

<参考1：京都文学賞（第3回作品・読者選考委員募集）>

(1) 作品募集

京都を題材とする未発表の「小説」を募集（ジャンル不問）
（応募締切：令和3年9月13日（月））

(2) 読者選考委員募集

作品の選考に関わる方を一般公募（10名程度）
（応募締切：令和3年8月2日（月））

<参考2：一般社団法人HAPSについて>

(1) 代表理事

遠藤 水城（えんどう みずき）

(2) 活動内容

若いアーティストたちが京都のまちなかに居住し、活動し続けることができる環境を整え、彼らの新しい創作の活力を、まちの活力につなげていくことを目指し、平成23年9月にHAPS実行委員会を設立、31年4月に事務局を法人化。

ア 居住環境の整備

若手芸術家に適したしつらえ、価格の空き家情報を若手芸術家に提供。

イ 制作環境の整備

閉校施設等を活用し、若手芸術家に制作スタジオとして提供。

ウ 発表支援

専門家のネットワークを軸に、プロの芸術家として必要不可欠な技術・知識を習得し、キャリアアップに繋げるためのサポート事業を実施。また、東山区内において、地域と連携し、ワークショップ等の事業を実施。

エ 仕事コーディネート（平成29年3月～）

若手芸術家に向けた仕事情報を収集し、それを紹介することで、若手芸術家の社会的、経済的地位の向上に繋げる。（「芸術家×仕事コーディネート事業」）

(3) 連絡先

住 所 京都市東山区大和大路通五条上る山崎町339

電 話 075-525-7525

Email info@haps-kyoto.com

※詳細はホームページ（URL <http://haps-kyoto.com>）を御覧ください。